

論点整理ペーパー及び農薬専門調査会体制

(平成 26 年 4 月農薬専門調査会決定)

(食品健康影響評価を実施する部会を指定する農薬)	頁
フェンメディファム	2
ブロマシル.....	5
デルタメトリン及びトラロメトリン	8
農薬専門調査会体制 (平成 26 年 4 月農薬専門調査会決定)	12

【参考】

(既に食品健康影響評価の結果を有している農薬)	
メトコナゾール.....	13
マンデストロビン	14

フェンメディファム

諮問理由	化学構造	作用機序	用途	評価資料
暫定基準見直し	カーバメート系	植物体内に吸収され、蒸散流によって移行し、同化作用とヒル反応を阻害することにより枯死させる。	除草剤	農薬抄録 海外評価書（米国、EU、カナダ、豪州）

【試験成績の概要】

1. 動物体内運命試験

¹⁴C で標識したフェンメディファムのラットを用いた動物体内運命試験の結果、経口投与後の吸収率は少なくとも低用量で 48.2%、高用量で 8.8%と考えられた。各臓器及び組織中放射能は、血漿及び全血が他の組織に比べて高く、そのほか肺、甲状腺、下垂体等に残留放射能が認められたが、全体的に低い濃度であった。放射能の排泄は低用量で主に尿中に、高用量では主に糞中に排泄された。尿中の主要な代謝物として M1 のグルクロン酸抱合体 (M16) 及び硫酸抱合体 (M17) が認められ (約 30~40%TAR)、そのほか M2~M9 及び M11 が認められた。糞中放射能の多くは未変化のフェンメディファムであった。

¹⁴C で標識したフェンメディファムの泌乳牛及び産卵鶏の体内運命試験の結果、泌乳牛の可食組織及び乳汁における残留放射能濃度は低く、最も高い濃度は腎臓、次いで肝臓に認められた。産卵鶏における全卵への放射能の取り込みは緩やかであり、放射能の大部分は卵黄中に認められ、卵白中濃度は僅かであった。

2. 植物体内運命試験

¹⁴C で標識したフェンメディファムの植物体内運命試験の結果、てんさい葉部において、未変化のフェンメディファム及びその抱合体 (M12 及び M13) の合計が 42.2%TAR、M1 及びその抱合体 (M14 及び M15) の合計が 35.1%TAR 認められた。根部の放射能は検出限界未満であった。いちご果実中には、未変化のフェンメディファム (51.1%TRR)、M3 (10.6%TRR) 及び M1 (1.9%TRR) が認められた。

3. 亜急性、慢性毒性、発がん性、生殖発生毒性及び遺伝毒性試験

フェンメディファム投与による影響は、主に体重 (増加抑制)、血液 (溶血性貧血、Ret 増加等)、肝臓 (色素沈着等)、腎 (色素沈着、上皮過形成等) 及び脾臓 (色素沈着、髄外造血等) に認められた。神経毒性、発がん性、繁殖能に対する影響、催奇形性及び生体にとって問題となる遺伝毒性は認められなかった。

【評価を受ける部会】：評価第二部会

フェンメディファム(PHENMEDIPHAM)

残留基準値	参考基準国	残留基準	登録保留基準	Codex	米	豪州	加国	EU	NZ	類型	残留基準値	参考基準国	残留基準	登録保留基準	Codex	米	豪州	加国	EU	NZ	類型
農産物に係る基準値																					
米(玄米)											みかん										
小麦											なつみかん										
大麦											なつみかんの外果皮										
ライ麦											なつみかんの果実全体										
とうもろこし											レモン										
そば											オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)										
その他の穀類											グリーンフルーツ										
大豆											ライム										
小豆類											その他のかんきつ類果実										
えんどう											りんご										
そら豆											日本なし										
らっかせい											西洋なし										
その他の豆類											マルメロ										
											びわ										
ばれいしよ											もも										
さといも類(やつがしらを含む。)											ネクタリン										
かんしょ											あんず(アブリコットを含む。)										
やまいも(長いもをいう。)											すもも(プルーンを含む。)										
こんにやくいも											うめ										
その他のいも類											おうとう(チェリーを含む。)										
てんさい	0.05	登録	0.05								いちご										
さとうきび										3-1	ラズベリー										
											ブラックベリー										
だいこん類(ラディッシュを含む。)											ブルーベリー										
だいこん類(ラディッシュを含む。)											クランベリー										
かぶ類の根											ハuckleベリー										
かぶ類の葉											その他のベリー類果実										
西洋わさび																					
クレソン											ぶどう										
はくさい											かき										
キャベツ											バナナ										
芽キャベツ											キウイ										
ケール											パパイヤ										
こまつな											アボカド										
きょうな											パイナップル										
チンゲンサイ											グアバ										
カリフラワー											マンゴ										
ブロッコリー											パッションフルーツ										
その他のあぶらな科野菜											なつめやし										
こぼろ											その他の果実										
サルシフィー																					
アーティチョーク											ひまわりの種子										
チコリ											ごまの種子										
エンダイブ											べにばなの種子										
しゅんぎく											綿実										
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	0.2	海外				0.2					なたね										
その他のきく科野菜											その他のオイルシード										
たまねぎ											ぎんなん										
ねぎ(リーキを含む。)											くり										
にんにく											ペカン										
にら											アーモンド										
アスパラガス											くるみ										
わけぎ											その他のナッツ類										
その他のゆり科野菜																					
にんじん											茶										
パースニップ											コーヒー豆										
パセリ											カカオ豆										
セロリ											ホップ										
みつば											その他のスパイス	0.2	独立								
その他のせり科野菜											その他のハーブ	0.2	独立								
トマト																					
ピーマン																					
なす																					
その他のなす科野菜																					
きゅうり(ガーキンを含む。)																					
かぼちゃ(スカッシュを含む。)																					
しろうり																					
すいか																					
メロン類果実																					
まくわうり																					
その他のうり科野菜																					
ほうれんそう	0.5	海外				0.5															
たけのこ																					
オクラ																					
しょうが																					
未成熟えんどう																					
未成熟いんげん																					
えだまめ																					
マッシュルーム																					
しいたけ																					
その他のきのこ類																					
その他の野菜	0.2	海外				0.2	0.1														5

フェンメディファム(PHENMEDIPHAM)

品名	残留基準値	参考基準国	残留基準	登録保留基準	C o d e x	米 国	豪 州	加 国	E U	N Z	類 型	加工食品に係る基準値				
												残留基準値	参考基準国	残留基準	C o d e x	類 型
畜水産物に係る基準値												加工食品に係る基準値				
牛の筋肉	0.1	海外					0.1				5					
豚の筋肉	0.1	海外					0.1				5					
その他の陸棲哺乳類の筋肉	0.1	海外					0.1				5					
牛の脂肪	0.1	その他									6-3					
豚の脂肪	0.1	その他									6-3					
その他の陸棲哺乳類の脂肪	0.1	その他									6-3					
ミネラルウォーター類に係る基準値																
牛の肝臓	0.1	海外					0.1				5					
豚の肝臓	0.1	海外					0.1				5					
その他の陸棲哺乳類の肝臓	0.1	海外					0.1				5					
牛の腎臓	0.1	海外					0.1				5					
豚の腎臓	0.1	海外					0.1				5					
その他の陸棲哺乳類の腎臓	0.1	海外					0.1				5					
牛の食用部分	0.1	海外					0.1				5					
豚の食用部分	0.1	海外					0.1				5					
その他の陸棲哺乳類の食用部分	0.1	海外					0.1				5					
乳	0.1	海外					0.1				5					
鶏の筋肉																
その他の家禽の筋肉																
鶏の脂肪																
その他の家禽の脂肪																
鶏の肝臓																
その他の家禽の肝臓																
鶏の腎臓																
その他の家禽の腎臓																
鶏の食用部分																
その他の家禽の食用部分																
鶏の卵																
その他の家禽の卵																
魚介類(さけ目魚類に限る。)																
魚介類(うなぎ目魚類に限る。)																
魚介類(すずき目魚類に限る。)																
魚介類(その他の魚類に限る。)																
魚介類(貝類に限る。)																
魚介類(甲殻類に限る。)																
その他の魚介類																
はちみつ																

※留意事項※

※表の見方他※

- ・「残留基準値」の列(太字・黄色背景)にある数値が、現在「食品、添加物等の規格基準(昭和34年12月28日厚生省告示第370号)」において告示されている基準値である。
- ・基準値が空欄の食品については、一律基準値0.01ppmが適用される。
- ・表中の農作物、畜水産物、加工食品の名称は、告示されているものと便宜的に異なる場合がある。
- ・個別の食品がどの分類に属するかの詳細については、別途お示しすることとしているが、該当がない食品(ワカメ等の海藻類や、ワニの肉、プロボリス等のその他食品)については、一律基準値が適用される。
- ・加工食品については、当該加工食品に基準値がある場合、また当該加工食品から派生した加工食品について判断する場合、加工食品の基準が優先して適用される。
- ・なお、加工食品のうち残留基準を設定しないものについては、原則として、残留基準に適合した原材料を用いて製造され又は加工されたものであれば、流通を可能とすることとする。

・表中の残留基準値は、平成17年11月29日現在のものであり、今後随時改訂されることがあり得る。
 ・表中の登録保留基準値、国際基準値、海外基準値等は、原則として暫定基準等(最終案)公表時に当方が把握していたものであり、最新の情報とは異なる可能性がある。

ブロマシル

諮問理由	化学構造	作用機序	用途	評価資料
・ 暫定基準	ウラシル系	植物の葉緑体中で行われるヒル反応を阻害することで光合成を阻害し、枯死に至らしめる。	除草剤	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農薬抄録 ・ 海外評価書（米国）

【試験成績の概要】

1. 動物体内運命試験の結果、投与後 48 時間の吸収率は、少なくとも 46.5～62.9 %と算出された。投与後 120 時間の尿及び糞への排泄率は 90.6～95.6%TAR となった。投与放射能は、主に尿中に排泄された。尿中の主要成分は代謝物[H]であり、ブロマシルは 0.4%TAR 以下と極微量であった。その他の代謝物として、[A]、[C]、[D]、[I]、[J]、[K]、[L]、[M]、[N]及び[O]が認められた。糞中の代謝物プロファイルは尿中とほぼ同様であり、未変化体のブロマシルは 1.0～1.8%TAR と微量であった。血漿、肝臓及び腎臓における主要成分は未変化のブロマシル又は代謝物[A]であった。
2. ブロマシルは根部より吸収されて茎葉部及び果実へ移行すると考えられた。植物体中では速やかに代謝され、オレンジ及びパイナップル果実中に認められなかった。主要代謝成分として、代謝物 [A]、[A]の抱合体である [Q]、[S]並びに [R]及び *sec*-ブチル側鎖の水酸化体である [C] 及び [D]が認められた。
3. 各種毒性試験結果から、ブロマシルの投与による影響は、主に体重（増加抑制）、精巣（精巣間細胞過形成等）及び肝臓（重量増加、小葉中心性肝細胞肥大等）に認められた。神経毒性、繁殖能に対する影響、催奇形性及び遺伝毒性は認められなかった。
4. マウスを用いた発がん性試験において、肝細胞腺腫及び肝細胞癌の発生頻度及び発現動物数が増加したが、その発生機序は遺伝毒性メカニズムによるものとは考え難く、評価にあたり閾値を設定することは可能と考えられた。

【評価担当部会】：評価第三部会

ブロマシル(BROMACIL)

残留基準値	参考基準国	残留基準	登録保留基準	Codex	米	豪州	加国	EU	NZ	類型	残留基準値	参考基準国	残留基準	登録保留基準	Codex	米	豪州	加国	EU	NZ	類型	
農産物に係る基準値																						
米(玄米)											0.05	登録		0.05		0.1	0.04				3-1	
小麦											0.05	登録		0.05		0.1	0.04				3-1	
大麦											0.07	海外		0.05		0.1	0.04				3-2	
ライ麦											0.05	登録		0.05		0.1	0.04				3-1	
とうもろこし											0.07	海外		0.05		0.1	0.04				3-2	
そば											0.05	登録		0.05		0.1	0.04				3-1	
その他の穀類											0.05	登録		0.05		0.1	0.04				3-1	
大豆											0.05	登録		0.05								4
小豆類											0.05	登録		0.05								4
えんどう											0.05	登録		0.05								4
そら豆											0.05	登録		0.05								4
らっかせい											0.05	登録		0.05								4
その他の豆類											0.05	登録		0.05								4
ばれいしょ											0.05	登録		0.05								4
さといも類(やつかしらを含む。)											0.05	登録		0.05								4
かんしょ											0.05	登録		0.05								4
やまいも(長いもをいう。)											0.05	登録		0.05								4
こんにやくいも											0.05	登録		0.05								4
その他のいも類											0.05	登録		0.05								4
てんさい											0.05	登録		0.05								4
さとうきび											0.05	登録		0.05								4
だいこん類(ラディッシュを含む。)											0.05	登録		0.05								4
だいこん類(ラディッシュを含む。)											0.05	登録		0.05								4
かぶ類の根											0.05	登録		0.05								4
かぶ類の葉											0.05	登録		0.05								4
西洋わさび											0.05	登録		0.05								4
クレソン											0.05	登録		0.05								4
はくさい											0.05	登録		0.05								4
キャベツ											0.05	登録		0.05								4
芽キャベツ											0.05	登録		0.05								4
ケール											0.05	登録		0.05								4
こまつな											0.05	登録		0.05								4
きょうな											0.07	海外		0.05		0.1	0.04					3-2
チンゲンサイ											0.05	登録		0.05								4
カリフラワー											0.05	登録		0.05								4
ブロッコリー											0.05	登録		0.05								4
その他のあぶらな科野菜											0.05	登録		0.05								4
こぼろ											0.05	登録		0.05								4
サルシフィー											0.05	登録		0.05								4
アーティチョーク											0.05	登録		0.05								4
チコリ											0.05	登録		0.05								4
エンダイブ											0.05	登録		0.05								4
しゅんぎく											0.05	登録		0.05								4
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)											0.05	登録		0.05								4
その他のきく科野菜											0.05	登録		0.05								4
たまねぎ											0.05	登録		0.05								4
ねぎ(リーキを含む。)											0.05	登録		0.05								4
にんにく											0.05	登録		0.05								4
にら											0.05	登録		0.05								4
アスパラガス	0.04	海外				0.04			5		0.05	登録		0.05								4
わけぎ											0.05	登録		0.05								4
その他のゆり科野菜											0.05	登録		0.05								4
にんじん											0.05	登録		0.05								4
パースニップ											0.05	登録		0.05								4
パセリ											0.05	登録		0.05								4
セロリ											0.05	登録		0.05								4
みつば											0.05	登録		0.05								4
その他のせり科野菜											0.05	登録		0.05								4
トマト											0.05	登録		0.05								4
ピーマン											0.05	登録		0.05								4
なす											0.05	登録		0.05								4
その他のなす科野菜											0.05	登録		0.05								4
きゅうり(ガーキンを含む。)											0.05	登録		0.05								4
かぼちゃ(スカッシュを含む。)											0.05	登録		0.05								4
しろうり											0.05	登録		0.05								4
すいか	0.05	登録									0.05	登録		0.05								4
メロン類果実	0.05	登録									0.05	登録		0.05								4
まくわうり	0.05	登録									0.05	登録		0.05								4
その他のうり科野菜											0.05	登録		0.05								4
ほうれんそう											0.05	登録		0.05								4
たけのこ											0.05	登録		0.05								4
オクラ											0.05	登録		0.05								4
しょうが											0.05	登録		0.05								4
未成熟えんどう											0.05	登録		0.05								4
未成熟いんげん											0.05	登録		0.05								4
えだまめ											0.05	登録		0.05								4
マッシュルーム											0.05	登録		0.05								4
しいたけ											0.05	登録		0.05								4
その他のきのこ類											0.05	登録		0.05								4
その他の野菜											0.05	登録		0.05								4

ブロマシル(BROMACIL)

残留基準値	参考基準国	残留基準	登録保留基準	Codex	米国	豪州	加国	EU	NZ	類型	加工食品に係る基準値					
											残留基準値	参考基準国	残留基準	Codex	類型	
畜水産物に係る基準値												加工食品に係る基準値				
牛の筋肉	0.04	海外				0.04					5					
豚の筋肉	0.04	海外				0.04					5					
その他の陸棲哺乳類の筋肉	0.04	海外				0.04					5					
牛の脂肪	0.04	その他									6-3	ミネラルウォーター類に係る基準値				
豚の脂肪	0.04	その他									6-3					
その他の陸棲哺乳類の脂肪	0.04	その他									6-3					
牛の肝臓	0.04	海外				0.04					5					
豚の肝臓	0.04	海外				0.04					5					
その他の陸棲哺乳類の肝臓	0.04	海外				0.04					5					
牛の腎臓	0.04	海外				0.04					5					
豚の腎臓	0.04	海外				0.04					5					
その他の陸棲哺乳類の腎臓	0.04	海外				0.04					5					
牛の食用部分	0.04	海外				0.04					5					
豚の食用部分	0.04	海外				0.04					5					
その他の陸棲哺乳類の食用部分	0.04	海外				0.04					5					
乳	0.04	海外				0.04					5					
鶏の筋肉																
その他の家禽の筋肉																
鶏の脂肪																
その他の家禽の脂肪																
鶏の肝臓																
その他の家禽の肝臓																
鶏の腎臓																
その他の家禽の腎臓																
鶏の食用部分																
その他の家禽の食用部分																
鶏の卵																
その他の家禽の卵																
魚介類(さけ目魚類に限る。)																
魚介類(うなぎ目魚類に限る。)																
魚介類(すずき目魚類に限る。)																
魚介類(その他の魚類に限る。)																
魚介類(貝類に限る。)																
魚介類(甲殻類に限る。)																
その他の魚介類																
はちみつ																

※留意事項※

※パイナップル、レモン、グレープフルーツは参考基準国からの輸入が多くを占めることから、海外基準を採用。

※表の見方※

- ・「残留基準値」の列(太字・黄色背景)にある数値が、現在「食品、添加物等の規格基準(昭和34年12月28日厚生省告示第370号)」において告示されている基準値である。
- ・基準値が空欄の食品については、一律基準値0.01ppmが適用される。
- ・表中の農作物、畜水産物、加工食品の名称は、告示されているものと便宜的に異なる場合がある。
- ・個別の食品がどの分類に属するかの詳細については、別途お示しすることとしているが、該当がない食品(ワカメ等の海藻類や、ワニの肉、プロボリス等のその他食品)については、一律基準値が適用される。
- ・加工食品については、当該加工食品に基準値がある場合、また当該加工食品から派生した加工食品について判断する場合、加工食品の基準が優先して適用される。
- ・なお、加工食品のうち残留基準を設定しないものについては、原則として、残留基準に適合した原材料を用いて製造され又は加工されたものであれば、流通を可能とすることとする。

- ・表中の残留基準値は、平成17年11月29日現在のものであり、今後随時改訂されることがあり得る。
- ・表中の登録保留基準値、国際基準値、海外基準値等は、原則として暫定基準等(最終案)公表時に当方が把握していたものであり、最新の情報とは異なる可能性がある。

デルタメトリン及びトラロメトリン*

諮問理由	化学構造	作用機序	用途	評価資料
<ul style="list-style-type: none"> ・ 暫定基準 ・ 適用拡大 ・ 飼料 	合成ピレスロイド系	神経膜のイオン透過性阻害作用	殺虫剤	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農薬抄録 ・ 海外評価書 (JMPR、EU 及び米国)

* トラロメトリンは国内で農薬登録されており、デルタメトリンは国内では農薬登録されていないが、海外では農薬として使用されている。デルタメトリンはトラロメトリンの動物、植物、土壌等由来の代謝物である。また、残留分析時にトラロメトリンがデルタメトリンに分解されることから、残留農薬基準はデルタメトリン及びトラロメトリンの総和として設定されている。

【試験成績の概要】

1. デルタメトリン

- ① ^{14}C で標識したデルタメトリンのラットを用いた動物体内運命試験の結果、投与 4～6 時間後に T_{\max} に達し、 $T_{1/2}$ は 5.25～5.78 時間であった。デルタメトリンの吸収率は、少なくとも 57.2% であり、投与後 24 時間に尿及び糞中に 75～80% TAR 以上が排泄された。主な代謝物として I、H、U 及び X が認められた。
- ② ^{14}C で標識したデルタメトリンのウシ及びニワトリを用いた動物体内運命試験において、主要代謝物は代謝物 H であった。
- ③ ^{14}C で標識したデルタメトリンの植物体内運命試験の結果、主要成分はデルタメトリンで、10% TRR を超える代謝物はデルタメトリンの異性体 (CR 及び CT) のみであった。
- ④ デルタメトリンを分析対象化合物とした畜産物残留試験の結果、デルタメトリンは主に脂肪に検出され、組織及び卵中への蓄積は 0.08 $\mu\text{g/g}$ 以下であった。
- ⑤ 各種毒性試験結果から、デルタメトリン投与による影響は、主に体重 (増加抑制) 及び神経系 (痙攣等) に認められた。発がん性、繁殖能に対する影響、催奇形性及び遺伝毒性は認められなかった。

2. トラロメトリン

- ① ^{14}C で標識したトラロメトリンのラットを用いた動物体内運命試験の結果、投与 4～6 時間後に T_{\max} に達し、 $T_{1/2}$ は 3.64～6.95 時間であった。トラロメトリンの吸収率は、少なくとも 50.9% であり、投与後 96 時間に尿及び糞中に 97.3% TAR 以上が排泄された。主な代謝物として I、H、C、U 及び X が認められた。
- ② ^{14}C で標識したトラロメトリンの植物体内運命試験の結果、主要成分は未変化

のトラロメトリン又は代謝物 C であり、10%TRR を超える代謝物として代謝物 C、H 及び P であった。

- ③ 各種毒性試験結果から、トラロメトリン投与による影響は、主に体重（増加抑制）及び神経系（振戦等）に認められた。発がん性、繁殖能に対する影響、催奇形性及び遺伝毒性は認められなかった。

【評価を受ける部会（予定）】：評価第四部会

デルタメトリン及びトラロメトリン(総和として。)(DELTAMETHRIN、TRALOMETHRIN)

残留基準値	参考基準国	残留基準	登録保留基準	Codex	米	豪州	加国	EU	NZ	類型	残留基準値	参考基準国	残留基準	登録保留基準	Codex	米	豪州	加国	EU	NZ	類型
農産物に係る基準値																					
米(玄米)	1	現行	1								みかん	0.5	現行	0.5							
小麦	1	現行	1								なつみかん										
大麦	1	現行	1								なつみかんの外果皮										
ライ麦	1	現行	1								なつみかんの果実全体	1	現行	1							
とうもろこし	1	現行	1								レモン	1	現行	1							
そば	1	現行	1								オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	1	現行	1							
その他の穀類	1	現行	1								グレープフルーツ	1	現行	1							
大豆	0.1	現行	0.1								ライム	1	現行	1							
小豆類	0.1	現行	0.1								その他のかんきつ類果実	1	現行	1							
えんどう	0.1	現行	0.1								りんご	0.5	現行	0.5							
そら豆	0.1	現行	0.1								日本なし	0.5	現行	0.5							
らっかせい	0.1	現行	0.1								西洋なし	0.5	現行	0.5							
その他の豆類	0.1	現行	0.1								マルメロ	0.5	現行	0.5							
											びわ	0.5	現行	0.5							
											もも	0.5	現行	0.5							
ばれいしょ	0.05	現行	0.05								ネクタリン	0.5	現行	0.5							
さといも類(やつがしらを含む。)	0.05	現行	0.05								あんず(アブリコットを含む。)	0.5	現行	0.5							
かんしょ	0.05	現行	0.05								すもも(プルーンを含む。)	0.5	現行	0.5							
やまいも(長いもをいう。)	0.05	現行	0.05								うめ	0.5	現行	0.5							
こんにやくいも	0.05	現行	0.05								おうとう(チェリーを含む。)	0.5	現行	0.5							
その他のいも類	0.05	現行	0.05																		
てんさい	0.1	現行	0.1								いちご	0.5	現行	0.5							
さとうきび											ラズベリー	0.5	現行	0.5							
											ブラックベリー	0.5	現行	0.5							
だいこん類(ラディッシュを含む。)	0.5	現行	0.5								ブルーベリー	0.5	現行	0.5							
だいこん類(ラディッシュを含む。)	0.5	現行	0.5								クランベリー	0.5	現行	0.5							
かぶ類の根	0.5	現行	0.5								ハuckleベリー	0.5	現行	0.5							
かぶ類の葉	0.5	現行	0.5								その他のベリー類果実	0.5	現行	0.5							
西洋わさび	0.5	現行	0.5																		
クレソン	0.5	現行	0.5								ぶどう	0.5	現行	0.5							
はくさい	0.5	現行	0.5								かき	0.5	現行	0.5							
キャベツ	0.5	現行	0.5								バナナ	0.5	現行	0.5							
芽キャベツ	0.5	現行	0.5								キウイ	0.5	現行	0.5							
ケール	0.5	現行	0.5								パパイヤ	0.5	現行	0.5							
こまつな	0.5	現行	0.5								アボカド	0.5	現行	0.5							
きょうな	0.5	現行	0.5								ハイナツプル	0.5	現行	0.5							
チンゲンサイ	0.5	独立	0.5								グアバ	0.5	現行	0.5							
カリフラワー	0.5	現行	0.5								マンゴ	0.5	現行	0.5							
ブロッコリー	0.5	現行	0.5								パッションフルーツ	0.5	現行	0.5							
その他のあぶらな科野菜	0.5	現行	0.5								なつめやし	0.5	現行	0.5							
ごぼう	0.5	現行	0.5								その他の果実	0.5	現行	0.5							
サルシフィー	0.5	現行	0.5																		
アーティチョーク	0.5	現行	0.5								ひまわりの種子	0.5	現行	0.5							
チコリ	0.5	現行	0.5								ごまの種子	0.5	現行	0.5							
エンダイブ	0.5	現行	0.5								べにばなの種子	0.5	現行	0.5							
しゅんぎく	0.5	現行	0.5								綿実	0.5	現行	0.5							
シタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	0.5	現行	0.5								なたね	0.5	現行	0.5							
その他のきく科野菜	0.5	現行	0.5								その他のオイルシード	0.5	現行	0.5							
たまねぎ	0.5	現行	0.5								ぎんなん	0.5	現行	0.5							
ねぎ(リーキを含む。)	0.5	現行	0.5								くり	0.5	現行	0.5							
にんにく	0.5	現行	0.5								ペカン	0.5	現行	0.5							
にら	0.5	独立	0.5								アーモンド	0.5	現行	0.5							
アスパラガス	0.5	現行	0.5								くるみ	0.5	現行	0.5							
わけぎ	0.5	現行	0.5								その他のナッツ類	0.5	現行	0.5							
その他のゆり科野菜	0.5	現行	0.5																		
にんじん	0.5	現行	0.5								茶	10	現行	10							
パースニップ	0.5	現行	0.5								コーヒー豆	2	現行	2							
パセリ	0.5	現行	0.5								カカオ豆	0.05	現行	0.05							
セロリ	0.5	現行	0.5								ホップ	5	現行	5							
みつば	0.5	現行	0.5								その他のスパイス	1	独立								
その他のせり科野菜	0.5	現行	0.5								その他のハーブ	0.5	独立								
トマト	0.5	現行	0.5																		
ピーマン	0.5	現行	0.5																		
なす	0.5	現行	0.5																		
その他のなす科野菜	0.5	現行	0.5																		
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.5	現行	0.5																		
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.5	現行	0.5																		
しろり	0.5	現行	0.5																		
ずいか	0.5	現行	0.5																		
メロン類果実	0.5	現行	0.5																		
まくわうり	0.5	現行	0.5																		
その他のうり科野菜	0.5	現行	0.5																		
ほうれんそう	0.5	現行	0.5																		
たけのこ	0.5	独立	0.5																		
オクラ	0.5	現行	0.5																		
しょうが	0.5	現行	0.5																		
未成熟えんどう	0.5	現行	0.5																		
未成熟いんげん	0.5	現行	0.5																		
えだまめ	0.5	現行	0.5																		
マッシュルーム	0.5	現行	0.5																		
しいたけ	0.5	現行	0.5																		
その他のきのこ類	0.5	現行	0.5																		
その他の野菜	0.5	現行	0.5																		

デルタメトリン及びトラロメトリン(総和として。)(DELTAMETHRIN、TRALOMETHRIN)

残留基準値	参考基準国	残留基準	登録保留基準	Codex	米	豪州	加国	EU	NZ	類型	加工食品に係る基準値					
											残留基準値	参考基準国	残留基準	Codex	類型	
畜水産物に係る基準値												加工食品に係る基準値				
牛の筋肉	0.03	Codex		0.03	0.02						2					
豚の筋肉	0.5	その他								6-3	2					
その他の陸棲哺乳類の筋肉	0.03	Codex		0.03	0.02					2						
牛の脂肪	0.5	Codex		0.5	0.05	0.5		0.05			2	ミネラルウォーター類に係る基準値				
豚の脂肪	0.5	Codex		0.5	0.05	0.1				2						
その他の陸棲哺乳類の脂肪	0.5	Codex		0.5	0.05	0.1		0.05		2						
牛の肝臓	0.05	Codex		0.05	0.05	0.1		0.01			2					
豚の肝臓	0.03	Codex		0.03		0.01				2						
その他の陸棲哺乳類の肝臓	0.05	Codex		0.05	0.05	0.1		0.01		2						
牛の腎臓	0.05	Codex		0.05	0.05	0.1		0.01			2					
豚の腎臓	0.03	Codex		0.03		0.01				2						
その他の陸棲哺乳類の腎臓	0.05	Codex		0.05	0.05	0.1		0.01		2						
牛の食用部分	0.08	海外			0.05	0.1					5					
豚の食用部分	0.01	海外				0.01				5						
その他の陸棲哺乳類の食用部分	0.08	海外			0.05	0.1				5						
乳	0.03	Codex		0.03	0.02	0.05		0.02			2					
鶏の筋肉	0.03	Codex		0.03	0.02			0.05		2						
その他の家禽の筋肉	0.04	海外			0.02			0.05		5						
鶏の脂肪	0.1	Codex		0.1	0.05	0.01					2					
その他の家禽の脂肪	0.1	Codex		0.1	0.05	0.01				2						
鶏の肝臓	0.02	Codex		0.02	0.02	0.01		0.05		2						
その他の家禽の肝臓	0.02	Codex		0.02	0.02	0.01		0.05		2						
鶏の腎臓	0.05	Codex		0.05	0.02	0.01		0.05		2						
その他の家禽の腎臓	0.02	Codex		0.02	0.02	0.01		0.05		2						
鶏の食用部分	0.02	Codex		0.02	0.02	0.01		0.05		2						
その他の家禽の食用部分	0.02	Codex		0.02	0.02	0.01		0.05		2						
鶏の卵	0.03	Codex		0.03	0.02	0.01		0.05		2						
その他の家禽の卵	0.03	Codex		0.03	0.02	0.01		0.05		2						
魚介類(さけ目魚類に限る。)	0.03	Codex		0.03				0.01		2						
魚介類(うなぎ目魚類に限る。)	0.01	海外						0.01		5						
魚介類(すずき目魚類に限る。)	0.01	海外						0.01		5						
魚介類(その他の魚類に限る。)	0.01	海外						0.01		5						
魚介類(貝類に限る。)																
魚介類(甲殻類に限る。)																
その他の魚介類																
はちみつ																

※留意事項※

※茶の分析法は熱湯抽出法による。

※表の見方※

- ・「残留基準値」の列(太字・黄色背景)にある数値が、現在「食品、添加物等の規格基準(昭和34年12月28日厚生省告示第370号)」において告示されている基準値である。
- ・基準値が空欄の食品については、一律基準値0.01ppmが適用される。
- ・表中の農作物、畜水産物、加工食品の名称は、告示されているものと便宜的に異なる場合がある。
- ・個別の食品がどの分類に属するかの詳細については、別途お示しすることとしているが、該当がない食品(ワカメ等の海藻類や、ワニの肉、プロボリス等のその他食品)については、一律基準値が適用される。
- ・加工食品については、当該加工食品に基準値がある場合、また当該加工食品から派生した加工食品について判断する場合、加工食品の基準が優先して適用される。
- ・なお、加工食品のうち残留基準を設定しないものについては、原則として、残留基準に適合した原材料を用いて製造され又は加工されたものであれば、流通を可能とすることとする。

- ・表中の残留基準値は、平成17年11月29日現在のものであり、今後随時改訂されることがあり得る。
- ・表中の登録保留基準値、国際基準値、海外基準値等は、原則として暫定基準等(最終案)公表時に当方が把握していたものであり、最新の情報とは異なる可能性がある。

農薬専門調査会体制(平成26年4月農薬専門調査会決定) (平成26年6月最終改訂)

幹事会

農薬専門調査会座長、各部会座長、各部会座長代理、座長が指名した者

幹事会

西川 秋佳	《座長》
納屋 聖人	《副座長》
赤池 昭紀	長野 嘉介
浅野 哲	林 真
上路 雅子	本間 正充
小澤 正吾	松本 清司
三枝 順三	與語 靖洋
代田 真理子	吉田 緑
永田 清	

審議結果を幹事会に報告

評価第一部会

- 篠原 厚子
(清泉女子大教授・動物代謝)
- 平塚 明
(東京薬科大教授・動物代謝)
- 山崎 浩史
(昭和薬科大教授・動物代謝)
- 上路 雅子《座長》
(日植防理事長・植物代謝)
- 清家 伸康
(農環研主任研究員・植物代謝)
- 相磯 成敏
(バイオアッセイ研部長・毒性)
- 赤池 昭紀《副座長》
(名古屋大教授・神経毒性)
- 浅野 哲
(国際医療福祉大学教授・毒性)
- 藤本 成明
(広島大准教授・毒性)
- 福井 義浩
(徳島大教授・生殖)
- 堀本 政夫
(千葉科学大教授・生殖)
- 林 真
(安評センター理事長・遺伝毒性)
- 若栗 忍
(秦野研研究員補・遺伝毒性)

評価第二部会

- 小澤 正吾
(岩手医科大教授・動物代謝)
- 杉原 数美
(広島国際大教授・動物代謝)
- 細川 正清
(千葉科学大部長・動物代謝)
- 腰岡 政二
(日本大教授・植物代謝)
- 吉田 充
(日本獣医生命科学大教授・植物代謝)
- 川口 博明
(鹿児島大准教授・毒性)
- 佐藤 洋
(岩手大特任教授・毒性)
- 松本 清司《副座長》
(信州大教授・毒性)
- 吉田 緑《座長》
(国衛研室長・毒性)
- 桑形 麻樹子
(秦野研究室長・生殖)
- 山本 雅子
(麻布大学教授・生殖)
- 根岸 友恵
(岡山大准教授・遺伝毒性)
- 本間 正充
(国衛研部長・遺伝毒性)

評価第三部会

- 中島 美紀
(金沢大教授・動物代謝)
- 永田 清
(東北薬科大教授・動物代謝)
- 田村 廣人
(名城大教授・植物代謝)
- 中山 真義
(農研機構研究領域長・植物代謝)
- 小野 敦
(国衛研主任研究官・毒性)
- 三枝 順三《座長》
(日本実験動物学会事務局長・毒性)
- 高木 篤也
(国衛研室長・毒性)
- 義澤 克彦
(関西医科大講師・毒性)
- 納屋 聖人《副座長》
(安評センター理事・生殖)
- 八田 稔久
(金沢医科大教授・生殖)
- 太田 敏博
(東京薬科大教授・遺伝毒性)
- 増村 健一
(国衛研室長・遺伝毒性)

評価第四部会

- 加藤 美紀
(名城大准教授・動物代謝)
- 玉井 郁巳
(金沢大教授・動物代謝)
- 本多 一郎
(前橋工科大教授・植物代謝)
- 與語 靖洋
(農環研研究コーディネータ・植物代謝)
- 井上 薫
(国衛研主任研究官・毒性)
- 長野 嘉介《副座長》
(長野毒性病理コンサルティング(元バイオアッセイ研副所長)・毒性)
- 西川 秋佳《座長》
(国衛研安全性研究センター長・毒性)
- 山手 丈至
(大阪府立大教授・毒性)
- 代田 真理子
(麻布大教授・生殖)
- 中塚 敏夫
(JST主任調査員・生殖)
- 佐々木 有
(八戸高専教授・遺伝毒性)
- 森田 健
(国衛研室長・遺伝毒性)

メトコナゾール（第5版）

諮問理由	化学構造	作用機序	用途	追加資料
適用拡大	トリアゾール系	エルゴステロール生合成阻害	殺菌剤	・作物残留試験 （たまねぎ） ・植物体内運命試験 （なたね）

【試験成績の概要（追加試験）】

1. 作物残留試験（たまねぎ）の結果、いずれも検出限界未満であった。
2. 植物体内運命試験の結果、主要成分は未変化のメトコナゾールであり、代謝物として M11 及び M35 が認められた。

以上より、暴露評価対象物質及び ADI の変更はないと思われる。

マンデストロビン

諮問理由	化学構造	作用機序	用途	評価資料
新規登録	ストロビルリン系	ミトコンドリア内チトクローム系に作用し、電子伝達を阻害する	殺菌剤	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農薬抄録 ・ 試験成績報告書

各種試験は主としてマンデストロビン (R 体 : S 体=1 : 1)、マンデストロビン R (R 体) 又はマンデストロビン S (S 体) を用いて実施されている。

【試験成績の概要】

1. 動物体内運命試験において、ラットに経口投与されたマンデストロビンの体内吸収率は、投与後 24 時間で少なくとも雄で 97.0%、雌で 94.7%と算出された。投与後 24 時間までの胆汁、尿及び糞中へ排泄率は、雄で 98.1%TAR、雌で 96.2%TAR であった。主に胆汁を介し糞中へ排泄された。14 日反復投与後の排泄も速やかであった。また、マンデストロビン R 及びマンデストロビン S のラットでの体内動態に顕著な差は認められなかった。
2. 畜産動物（ヤギ及びニワトリ）を用いたマンデストロビンの動物体内運命試験の結果、最終投与 6 時間後の組織中の残留放射能はいずれも僅かであった。残留放射能中には、未変化のマンデストロビンのほか、代謝物が多数認められ、比較的、高濃度で認められた代謝物は D、F、I 及び K であった。
3. 植物体内運命試験において、残留放射能中には、未変化のマンデストロビンのほかいくつかの代謝物が認められた。小麦の穀粒中に代謝物 I が 60.6%TRR (0.054 mg/kg) が認められた。植物中に検出された代謝物は、ラットの動物体内運命試験で認められた代謝物と共通であった。また、残留放射能中のマンデストロビンの R : S 比は、約 50 : 50 であった。
4. 毒性試験において、マンデストロビン投与による影響は、主に肝臓（重量増加、肝細胞肥大等）及び甲状腺（甲状腺ろ胞細胞肥大）に認められた。
5. 発がん性試験において、ラットで生殖索-間葉腫瘍に増加傾向が認められたが、比較検定では有意差は認められなかった。腫瘍発生頻度は、試験実施機関の背景データを超えていたが、生殖索-間葉の増殖性病変の発生頻度は、全ての群において背景データの範囲内であった。また、*in vitro* でエストラジオール合成への影響及びヒトエストロゲンレセプターへの作用を検討したが、変化は認められなかった。マウスでは発がん性は認められなかった。
6. 神経毒性、発がん性、繁殖能に対する影響、催奇形性及び遺伝毒性は認められなかった。
7. その他試験の結果から、ラットではマンデストロビンは CAR を介して薬物代謝酵素を誘導することが示されたが、マウスでは、その程度は微弱であると考えられた。